平成３０年度　美山小学校だより　No.4

白梅

7月

発行責任者　村上　順一　発行日：平成３０年7月１５日

夏休みの思い出

美山小学校長　村上　順一

もうすぐ子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。宿題が出たり、水泳の練習、陸上の練習、音楽祭の練習と休みとは言っても学校に来る日々が続くとは思いますが楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思っています。また、前期前半が大きな事故やけが等がなく児童が過ごしてこれましたのは地域の皆さんや保護者の皆様のご協力あってのことと深く感謝いたします。

先日、PTAの奉仕作業終了後に「移ヶ岳」に登ってみました。頂上直前の急な道をロープをつかみながら何とか登り切りました。頂上には私よりも先に登っていた人たちがいてちょっとびっくりしました。頂上からの眺めは本当に素晴らしかったです。その帰り道、桑畑があることに気がついて車を止めてしまいました。私が小さい頃には見慣れた光景でしたが最近はあまり見ないので写真を撮ってしまいました。誰か「おかいこさま」を飼っている人がいるのだと思いました。

私の家も農家でしたので以前は小屋で「かいこ」を飼っていました。祖母には「かいこ」と言うと「おかいこさま」だといつも怒られました。小屋に入ると「かさかさかさ」と「かいこ」が桑の葉を食べている音がしていたのを覚えています。そして、姉妹と桑の実（「くわご」と言っていたような）を食べて口の中を紫色にしてしょっちゅう見せ合っていたのを思い出しました。

私の夏休みと言えば家が「たばこ農家」であったため他の同級生が遊んでいても遊ぶことなくただひたすら「たばこはさみ」をしていたの思い出します。親に一本５円とか１０円とか言われてやっていましたが、一度ももらったことがありませんでした。指をたばこのヤニで真っ黒くして、独特のにおいもありましたね。そういえば最近は桑畑ほどではありませんが「たばこ畑」も見なくなりました。辺り一面たばこ畑なのが田村地方の当たり前の光景だったのですがめっきり少なくなってしまいました。少しさみしいですね。

ついでに私の夏休みの思い出をもう一つ。児童たちが子ども育成会で「ディズニーシーに行く。」とか「ハワイアンズに行く。」と話していましたが、私の頃はと言えば松川浦だったような気がします。松川浦で潮干狩りが定番でした。今でも覚えているのはたくさん入れたアサリの袋を潮干狩りしている間にどこかに置いてきてしまい父親にひどく怒られたことです。

さて、美山小学校の児童５０人はどのような思い出をこの夏休みにつくるのでしょうか。夏休み明けの８月２７日には，たくさんの思い出を抱えて、児童全員が元気な姿で登校してくれることを願っています。学校でも事故やけがをすることのないように担任の先生が指導をいたしますが、保護者・地域の皆様からも夏休み中一声かけてくだされば ありがたく思います。

平成３０年度　美山小学校だより　No.３

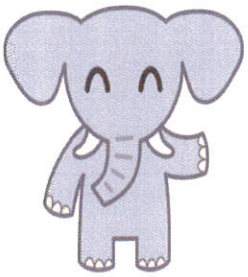
白梅

6月

発行責任者　村上　順一　発行日：平成３０年６月１５日

ゾウの時間、ネズミの時間

美山小学校長　村上　順一



全国各地で一週間程度梅雨入りが早まっており、福島もそうなりそうな感じです。

ところで、私は長く中学校で国語の指導をしていました。その時使っていた(だいぶ古い話ですが)国語の教科書に「ゾウの時間、ネズミの時間」という文章があったような気がします。もしかすると高校の教科書かも知れません。現在はなくなってしまったと思います。その中には、生き物、ほ乳類の持つ心臓は一生の中で打つ鼓動数が15億回程度と決まっているとありました。ネズミだったら2～3年でその回数に達し、ゾウは70年程度かかるということでした。これはそのまま、その生き物の寿命となっています。

これを人間に当てはめていくと、本来、生き物、ほ乳類としての人間の寿命は26.3年だそうです。例えば、縄文人の寿命は、31年程度ではなかったかと言われています。

しかし、人間は今、ゾウよりも長い人生80年の時代を生きています。あと数十年すると100歳になるかもしれないとも言われています。そうすると26歳以降の人間の寿命は、生き物、ほ乳類的には「特別の時間」ということになります。他の生き物にはない人間だけが持つ特別の時間をどのように生きるか大切にしなければならないと考えています。それは東日本大震災のような大きな災害によって亡くなる人がいるからということだけではありません。この人間だけが持つ時間は私たちのはるか遠い昔から、私たちの祖先が努力をして手にしたものだからです。

私たち人間の持つ叡智は、生活を変えるだけでなく、寿命まで生み出しました。それには何か必要性があったのだろうと思います。人間の叡智によって生み出されたこの寿命をどう生きるか、それぞれに一つ一つが大切な命だと思います。その日その日を精一杯生ききることが私たちのやるべきことではないかと思います。そんなことについても児童と一緒に考えていければと思っています。

＝全国植樹祭大会 ６月１０日に参加しました＝

新聞やテレビなどでも報道されておりましたが１０日（日）に南相馬市で天皇皇后両陛下をお迎えした全国植樹祭が行われました。美山小学校からは６年生の児童が「美山小学校緑の少年団」として学校を代表して参加しました。県内の小学校、全国の学校から多くの人をお迎えし盛大に行われました。６年児童にとっては小学校時代のよい思い出になったのではないかと思います。

平成30年度の 学校評議員の皆様を紹介いたします

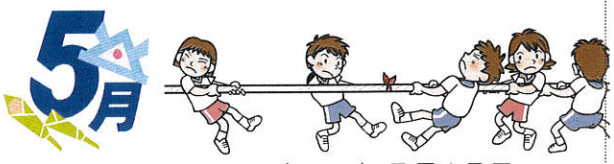
第１回目の学校評議員会は，今月２２日に開催を予定しています。下記の５名の皆様に美山小学校の教育活動をご覧いただき，ご意見をうかがうことになっております。

○橋本　文男様（代表区長）
○大山　正一様（美山小同窓会長・スポーツ少年団長）
○安瀬　安雄様（少年補導員）
○鹿股　正博様（民生委員地区長）
○鹿又　公男様（３０年度ＰＴＡ会長）

※市教育委員会からの名簿をもとに記載させていただきました。

平成３０年度　美山小学校だより　No.2

白梅



発行責任者　村上 順一　　発行日：平成３０年５月１５日

それぞれの運動会　～みんな違ってみんないい～

美山小学校長　村上 順一

五月も中旬となり周りの緑も濃くなり、本格的な初夏を感じることが多くなりました。先日の運動会には児童の家族の皆様や地域の皆様、来賓の皆様等、多くの方のご参加と準備や競技へのご協力をいただき誠にありがとうございました。天気にも恵まれ素晴らしい運動会を行うことができました。特に、６年生にとっては最後の運動会がとても思い出深いものになったのではないかと感じています。大変ありがとうございました。

その運動会までの出来事を一つ。私が出張から帰ってきたとき玄関前で一人の児童が座っていました。体育の時間で他の児童たちは運動会の練習をしていました。

私　　：「どうしたの？」
Ａさん：「かかとが痛い。」
私　　：「そう～。」
私　　：「運動会好き？」
Ａさん：「あまり好きではない。」
私　　：「どうして？」
Ａさん：「走るの速くないから。」
私　　：「頑張っているんだね～。」

その10分か15分後、Ａさんはみんなと走っていました。運動会に対する思いは一人ひとり違います。それは年齢が上がるにしたがって自分というものが分かってくるからだと思います。入賞できればそれに越したことはありません。しかし、そうならない児童も必ずいます。入賞を目指す児童もいれば、走りきる、運動会を楽しむを目標にする児童もいていい。それぞれに目標を持って取り組みそれが達成できたかどうかで見てあげることにこれからも心がけていきたいと思います。走るのが速い子、速くない子、好きな子、嫌いな子、いろいろです。その中で自分はどうするかを考え実行できることが大切なのだと思います。

言葉をかえれば人はそれぞれ「違う」ということに気づくことなのかも知れません。

「みんな違ってみんないい」

人はそれぞれ違う、同じでなくてもいい。同じでなければならない時もありますが、「違う」ということを受け止め、どうするか考られる大切さを児童たちとともに考えていければと思います。

メディアチェックデー　10 20 30

0(ゼロ)のつく日

今年度もメディアチェックデーに取り組んでいきます。テレビやゲーム機等のディスプレイから受ける脳への影響を医学的に研究している方々がいます。それによると、特に、小・中学生段階での影響が懸念されるという報告がされています。月に数回はディスプレイから離れて過ごすことも大切ではないかと考えています。家庭でのご協力をよろしくお願いします。

読書の大切さ

図書委員会の児童たちが昼の放送で図書の貸し出しについて連絡をしています。積極的に本を貸り読む児童を増やしたいと考えています。本を読むことで創造力が増していきます。この創造力は学習にも大いに影響を与えると言われています。「子どもの読書週間（4/23～5/12）」を生かしながら本に触れて読む機会を増やしていきたいと考えています。

平成３０年度　美山小学校だより　No.1

白梅

発行責任者　村上　順一　発行日：平成３０年４月１５日

「学校って楽しい！」と思える学校づくり

美山小学校長　村上 順一

私は、この４月から美山小学校の校長として赴任してまいりました。出身は田村市常葉町です。自宅も同じです。今後、地域の皆様にはとてもお世話になることが多いかと思います。よろしくお願いいたします。

ところで、今年は全国の桜の開花が大変早く、入学式頃に咲き始めた美山小学校の桜も満開を迎えようとしています。４月は新しい出会いの季節、ピカピカの新入生９名が入学し、学校は新たな１年のスタートをきりました。今年度は全校児童５０名、全教職員１１名、合計６１名となりました。人事異動により校長、教頭、教諭１名が新たに転入してまいりました。児童５０名の子どもたちの健やかな成長のため、心新たに日々の実践を大切にしながら，下記の教育目標に迫っていきたいと思います。

【本校の教育目標】

＜基本目標＞	◎	**心豊かで、たくましく生きる児童の育成**
＜具体目標＞	○	自分で考え、進んで学習する子ども（学ぶ）
	○	礼儀正しく、思いやりのある子ども（思いやる）
	○	心身ともに健康な子ども（きたえる）

学校では、「学ぶ・思いやる・きたえる」をバランスよく子どもたちに育んでいきます。その中で先生方は子どもたち一人ひとりに目を向け、それぞれが持つ資質や能力を伸ばし、磨き、鍛えていきます。先日の始業式の中で、児童（２年生～６年生）たちに「夢」を持つことの大切さと「挑戦」することの大切さについて話をしました。そして、「夢」は実現するためにあり、そこに向けて努力する、工夫することが大切であること、また、「挑戦」は失敗を恐れず一歩前に出る勇気やがまん強さを育む、大人になるために大切なものであることを話しました。

今年度も本校教職員全員で心を一つにして美山小の子どもたちのために教育にあたってまいります。お力添えのほどよろしくお願いいたします。

＝朝早くからありがとうございました＝

４月６日から１５日まで「春の全国交通安全運動」が行われています。交通安全協会美山分会、母の会等、地域の皆さまに通学路での見守り活動をしていただいております。お陰様で子どもたちも安全に登校することができております。
ありがとうございました。

子どもたちの活動の様子をホームページで紹介しています。ぜひ，ご覧いただきたいと思います。携帯電話でも見ることができます。下のURLへのアクセスやQRコードの読み取りによって，ホームページを見ることができます。

美山小学校　学校ホームページ
http://www.tamura.fcs.ed.jp/?page_id=61